

昭和 63 年度技術交流会報告書

伊 礼 勇 雄

1. 課 題

資源管理型漁業について

2. 目 的

近年、沖縄県を取り巻く沿岸漁業の衰退は目を見張るばかりである。

その事は、沿岸漁場の資源が年々減少しているのが原因で、その要因には山地開発による赤土の流出、生活排水、オイルボールの流出、海面埋立による漁場が狭まれていることなど、その他諸々の要因で漁場が荒廃しているのは確かな事実である。

しかし、その反面漁業者自身が自らの漁場である漁場（生活の場）をこれまでしっかりと守り、管理しなかったことも沿岸漁業を衰退させた一つの起因になったと思う。

例えば、漁期（サイズ）、漁具、漁法の規制に加えて漁場の自主規制を徹底的に行うことも一つの策であったと思う。

それらの事をしかと見聞するため、将来沖縄県の水産業の担い手である漁業士と一緒に先進地である大分県姫島村で交流会を実施した。

3. 交流地

大分県姫島村漁業協同組合

4. 日 程

昭和63年9月2日～9月5日

5. 参加者

国頭漁業協同組合……………比 嘉 行 三

伊良部町漁業協同組合……………浜 川 幸 治

八重山漁業協同組合……………名 嘉 全 正

引率（八重山支庁農林水産課）……………伊 礼 勇 雄

6. 交流状況

(1) 9月2日は、沖縄本島地区、宮古地区、八重山地区の漁業士と那覇空港で合流し、その足で姫島村へ渡った。

(2) 9月3日は、姫島村漁協の参事山下武士氏から姫島村漁協会議室にてこていねいに漁協の概要について説明があり、これまでの資源管理型漁業の経緯や苦労話などがなされた。

又、将来に向けて資源管理型漁業から富の平等分配である漁獲管理型漁業移行への立派な計画があることも知る事ができた。

漁協運営やその他に事があれば各地区へ問題を投げかけ、徹底討議させるなど、総代会という制度を設け、漁協総会を滞りなく済ませている模範的な漁協運営をしているようでもあった。

4月～10月迄は月2回の漁業定休日があり、これも一つの漁業資源培養維持の策ではなからうかと思う。

その他に、これまで何カ年間の魚価値の資料を基にして仲買人で行う1ヶ月(10日に1回)に3回取り決める魚価協定表等の話もあった。

姫島村のクルマエビ養殖(第3セクター方式)は全国的に名を轟せられており、漁協サイド側では漁村の子弟や減船対象漁業者の雇用拡大にも大きく貢献しているとのことであった。

それから、青年部長の磯辺時男氏から青年部活動の概況や活動の一環である漁業資源の調査、余暇利用によるレクリエーション、クルマエビ放流事業への参画、その他諸々の活動を呈しており、多々目を見張るばかりの話であった。

午後は、漁協職員の案内で漁場を監視する展望台や漁港で漁船規模(漁具や科学装備)を視察し、その場で漁業者とも直接交流を図った。

姫島村を視察する中で一番感じた事は、島全体に緑(松の木)が多い事で、昔ある人が木を植えるよう奨励したのが今日のこの緑であり、これ即ち魚付林である。

(3) 9月4日は、大分県国東事務所水産課主査上杉賢平氏の案内で東国東郡の各漁協施設視察や活魚の出荷方法等の説明と指導を受け、今後の沖縄県水産業の一つの課題である事を感じとった。

(4) 9月5日は各地区へ帰島

7. 所 感

以前、姫島村漁協の資源管理型漁業については、「漁場管理と漁協」という本で読んだことはあるが、実際に姫島村漁協の組合員と直接交流した中で感じた事は、明治からのこの漁業期節を守るためには命を張ってでも守り抜いた事など、様々なトラブルがあったとの事である。

なる程、そこまでしないとこの様な立派な資源管理型漁業が出来ない物だというのが実感である。

この様なきびしい条件の中で漁場を守り抜いてきた姫島村漁協をはじめ組合員に対し敬意を表したい。

私がここまでいうまでもなく、姫島村漁協には国の指定の保護育成水面の他に組合独自の姫島村地先保護水面区域を5ヶ所(位置、基点、目的、規則の4区分)に設定して順守すると同時に漁場造成にも力を入れている。

ある先生が指摘するように、沖縄県の漁協はややもするとこれまで陸の協同運動は熱心であったが、本来の漁協の使命であり、根本であるべき漁場の管理、資源の管理、漁業権の管理がなごりにされた傾向があったのではないかと思う。

特に、沖縄県のリーフ内漁場は栄養塩に富んでいるとの事である。

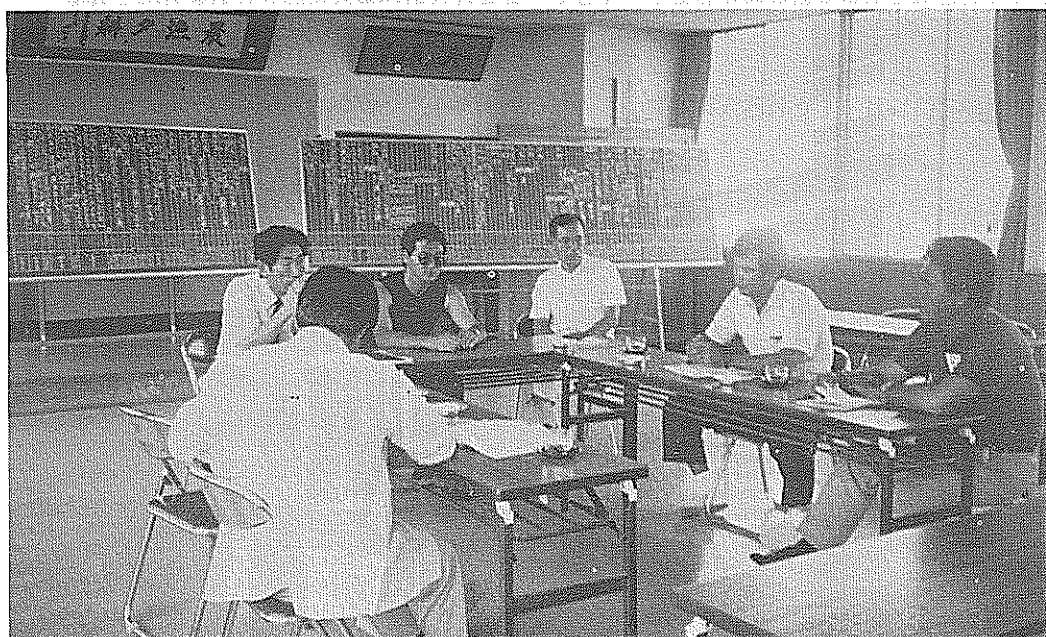
これらの事を考えると、私達沖縄県の漁業者もこれから学び、自の漁場は自分で守り、姫島村漁協の様な立派な資源管理型漁業が出来るようお願いしたい。



姫島村漁業協同組合事務所

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

姫島村漁協魚価協定一覽表(昭和16年)



山下参事、磯辺青年部長、上杉主査から説明を受ける漁業士

(40) 5月31日(公休)4/13日

第 二 部



展望台にて、研修生一行メンバー

研修生一行が展望台で記念撮影をした様子